

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 3月 1日

公表:令和6年3月16日

事業所名:児童発達・放課後等デイサービスあお

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動はグループ分けをして行っています。	
	2 職員の配置数は適切である	6			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	段差があるところがある。車椅子には対応できない。	スロープ、階段の手すりの設置
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		個人目標を決め、日々の支援に取り組んでいます。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	意向に沿うように、実施に向けたスタッフでの話し合ができています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページに公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	第三者委員は設置しているが、評価を受けるまでには至っていません。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		施設内研修、外部研修に参加しています。毎週、勉強会があります。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		個別支援計画を作成するときに支援会議を行っています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	5	うまく活用できていないと感じます。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		職員で話し合って決めています	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		個々に合わせた支援を取り入れたりしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		長期休みの時などは、お出かけなどのイベントを計画しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		それぞれのニーズに合わせた活動支援内容にしています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		毎日の取り組みを記入し、作業を進めています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		その日のうちに解決が必要な打合わせは随時行い、定期的な打合わせは毎朝行い前日の振り返りを行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々の支援記録を書いています。活動の様子、気になったことを書いています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		半年に一回モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児発管が出席し、後日、スタッフに報告しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		送迎時、担任の先生との情報共有。下校時刻の変更なども保護者と学校でのやり取りをしていただき、連絡をいただいています。	
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6		重身ではないので医療ケアが必要な子がいない	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		児童発達支援利用児童の利用期間が短いため、今年度は情報の共有はしていません。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		現在、該当する児童がおりません。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		研修等参加しています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		色々なイベントに参加し、交流ができています。農業体験の時など、一緒に参加しています。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6		現在は参加しておりません。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時にお話して情報共有しています。送迎時に必ずその日の出来事や様子をお伝えしています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	6		2か月に1回のペースで、ペアレントトレーニングを行っています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	契約時に説明させていただいております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	保護者様からの相談は、随時受け付けており、その都度、職員間で話し合っ対応するように努めています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	イベントを通じて親同士の交流のきっかけづくりができています。イベントやベアトレ時に保護者同士の交流ができており、顔を合わせると会話が弾んでいるようです。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	速やかに対応するようにしています。何があったのか、職員にも情報の共有をし、再発防止に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	あおだよりを発行していました。お子さまの様子や行事など、SNSで発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6	個人情報が記載されている書類は、事業所で保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	一般に公開されたイベントを定期的に開催しています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1 保護者に周知が足りないところがありました。	緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアルをベアトレノ際などに周知します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1 年に1回は行うようにしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2 年に1回は行うようにしています。	外部研修に参加し、施設内研修も増していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	契約時に説明し、同意書をいただいています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	契約時にアレルギーの情報を提出していただき、保護者様のご意向に沿うようにしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	ヒヤリハット作成後、共有し再発防止に努めています。	